

# 学びのドリームプラン

## 第5学年2組 理科

単元名：瀬野川に学ぶ  
「流れる水のはたらき」

指導者 高木 和希

### 児童の願い

自分たちの生活とかかわりの深い瀬野川を流れる水の働きについて、詳しく知りたい。



### ゴール

自分たちの生活を安全にするために、実験や観察をして分かったことを、「瀬野川マップ」にしてまとめる。

### 学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・観察や実験を通して、流れる水のはたらきと土地の様子の変化の関係から問題を見出し、瀬野川と結び付けて「瀬野川マップ」作りをしようとしている。	・観察や実験を通して、流れる水のはたらきと土地の様子の変化の関係が分かり、「瀬野川マップ」作りをしようとしている。
【思考力】	・結果を予想した上で、モデル実験で獲得した結果を考察し、流れる水のはたらきと土地の変化の様子を瀬野川や身の回りの川と関係付けて考えている。	・モデル実験で獲得した結果について、流れる水のはたらきと土地の様子の変化を瀬野川と関係付けて考えている。
【自己理解】	・観察や実験、「瀬野川マップ」作りを通して、自然現象の規則性を考えながら、川と共生することの大切さに気付いている。	・観察や実験、「瀬野川マップ」作りを通して、川と共生することの大切さに気付いている。

### 本単元で付けたい力

流れる水の働きや増水による災害などについて興味・関心をもち、観察や実験を通して、浸食・運搬・堆積の三作用や、川の流域による石の様子の違い、水量や流水速度の変化による土地の様子の変化についての見方や考え方をもちることができる。 【B 生命・地球(3)】

### 「課題発見・解決学習」の過程(全15時間)

学 習 活 動		育成したい 資質・能力
<b>課題の設定(2)</b> ○水の流れの変化とはたらき ・瀬野川を観察して、川の流れや土地の様子について、感じたことや気付いたこと、疑問に思ったことを話し合う。	川に関する本の並行読書・瀬野川の資料を収集	主体性
○観察・実験を通して分かったことを伝えたいという意欲をもち、学習の見通しを立てる。 ・瀬野川の流れる水のはたらきや土地の変化についてまとめた「瀬野川マップ」を作成するという学習課題を設定する。 ・ゴールの見通しをもち、単元で付けたい力について考え、学習計画を立てる。		主体性
<b>情報の収集・整理・分析(8)</b> ○川と川原の石(2) ・川の上流・中流・下流の地形と、川原の石の大きさや形の違いについて、流れる水のはたらきが関係していることを整理する。		思考力
○流れる水のはたらき I ・流れる水の速さや量の変化を流水実験で確かめ、浸食・運搬・堆積について整理する。		思考力

学 習 活 動		育成したい 資質・能力
○流れる水のはたらきⅡ ・水の量と流れる水の速さとはたらきの関係を調べる。 <b>【本時】</b>	川に関する本の並行読書・瀬野川の資料を収集	思考力
○流れる水のはたらきⅢ ・瀬野川の増水時の様子から、水の流れと土地の様子の変化についてまとめる。		思考力
○わたしたちのくらしと災害 ・川が増水することによって起こる自然災害を最小限に防ぐ方法を考え、どのような対策が望ましいかを流れる水の規則性を根拠に考える。		思考力
○瀬野川の観察を行う。(2) ・観察、実験の結果と瀬野川の様子を関連付け、流れる水のはたらきと土地の様子の変化について考える。		思考力
<b>まとめ・創造・表現(4)</b> ○「瀬野川マップ」の割付けを考える。(2) ・グループで話し合いながら、それぞれの項目(三作用【堆積、運搬、浸食】、水の量、土地の様子など)の割付けを決める。		思考力
○「瀬野川マップ」の制作を行う。(2) ・写真にキャプションを付けて、仕上げる。		主体性
<b>振り返り(1)</b> ○「瀬野川マップ」を交流し合う。 ・まとめ方の工夫を見付け、作品の評価を「評価カード」に書く。	自己理解	
<b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で「瀬野川マップ」を基に自らの学びを振り返る。	自己理解	